

授業科目	人権と赤十字				単位評価者	非常勤講師	
対象学年	1	単 位	1	時 間	30	担当教員	非常勤講師
目 的	<p>武力紛争時に適用される規則である国際人道法の発展に赤十字はその発足当初から貢献してきた。したがって赤十字と国際人道法は非常に密接な関係にある。また実際に武力紛争の際に人道援助において赤十字が果たす役割は大きい。</p> <p>本講義は、最初に赤十字の成り立ちと活動について学び、次に国際人道法にはどのような規則が定められているのか、それによって武力紛争時の人道を十分に確保することができるのかについて学ぶことを目的とする。また、市民（文民）が武力紛争によりどのような被害を受けるのかを実例から学び、被害を最小限にする方法について考える。</p>						
目 標 および 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入—何を学ぶのか？ 2. 赤十字とは何か？ 3. 赤十字の活動（1）—赤十字国際委員会による人道支援 4. 赤十字の活動（2）（グループ報告） 5. 武力紛争と疾病（1） 6. 武力紛争と疾病（2）—コンバット・ストレス 7. 難民の地位 8. 難民の受入れをめぐる問題（グループ討議） 9. 国際人道法の基本原則（1） 10. 国際人道法の基本原則（2）（グループ討議） 11. 武力紛争犠牲者の保護（1） 12. 文民の保護（グループ討議） 13. 武力紛争犠牲者の保護（2） 14. 子ども兵の問題（グループ討議） 15. 戦闘の手段(兵器)の規制 						
キーワード	赤十字、国際人道法、国際人権法						
教育方法	毎回レジュメを配布する。レジュメとテキストを用いながら講義を行う。ニュースや新聞で取り上げられた話題などで講義内容と関連するものがあれば、できるかぎり紹介していきたい。						
テキスト	『赤十字と国際人道法—普及のためのハンドブック』（日本赤十字社）						
参考文献	初回の講義で示す。						
評価方法	筆記試験						